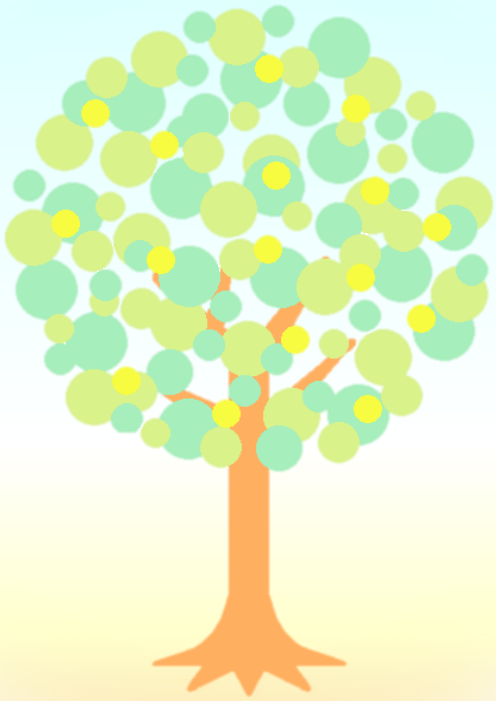
エコアクション２１

環境経営レポート



〔 第 32 期 〕　令和 3 年 9 月 1 日 ～ 令和 4 年 8 月 31 日

第9版作成日　　令和 4 年 12 月 20 日

株式会社藤浪造園

目　　次

Ｐ.１　　環境経営方針

Ｐ.２　　組織の概要

Ｐ.３　　実施体制図

Ｐ.４　　環境経営目標

Ｐ.５　　環境経営計画

Ｐ.６　　取組内容

Ｐ.８　　環境経営目標の実績及び評価

Ｐ.９　　環境経営計画の取組結果及び評価

Ｐ.１０　　次年度の環境経営目標及び環境経営計画

Ｐ.１１　　環境関連法規等

Ｐ.１２　　代表者による評価

環 境 経 営 方 針

環境理念

株式会社藤浪造園は、自然の循環を尊重した健全な循環型社会の構築を目指し、緑地整備をはじめとする環境整備事業を通じて地域社会の緑化の推進に寄与し、環境に配慮した経営に努め、積極的に環境保全に取り組みます。

行動指針

■ 環境負荷の低減のため、次の６つを重点的に取組みます。
- 電気の使用量削減
- 化石燃料（軽油･ガソリン等）の使用量削減

⇒ 二酸化炭素排出量の削減

- 廃棄物排出量の削減と適正処理
- 水使用量の削減
- 化学物質を含有する農薬使用量の削減
- 環境負荷の低減に資する工法や作業の推進

■ 緑化推進、環境保全のためのボランティア活動を行います。
■ 植物の魅力、環境への取組みを発信します。
■ 人材育成、職場環境改善に取組みます。
■ 環境関連法規制等を遵守します。
■ 環境経営の継続的改善を図ります。

環境理念及び行動指針を全社員に周知させ、一丸となって環境経営を推進します。

制定　平成25年 9月 1日
改定　令和元年 9月 1日

株式会社藤浪造園
代表取締役　藤浪 義之

組 織 の 概 要

■ 事業者名　**株式会社藤浪造園**

■ 代　表　者　代表取締役　藤浪 義之

■ 所　在　地　本　　社　　静岡県静岡市葵区北二丁目10番20号
資材置場　　静岡県静岡市葵区有永町8番1号
TEL　054－245－9870　　FAX　054－245－9918
E-mail　info@fujinami-zoen.co.jp

■ 事業内容　造園工事、土木工事、とび・土工工事、造園維持管理
産業廃棄物の収集運搬

■ 従業員数　19 人

■ 環境管理責任者　代表取締役　藤浪 義之

■ 環境管理担当者　総務部長　吉永 恵美子

■ 許可･登録

●建設業許可
許可番号：静岡県知事許可（特－3）第014970号
許可期限：令和3年11月26日～令和8年11月25日
許可業種：造園

許可番号：静岡県知事許可（般－3）第014970号
許可期限：令和3年10月11日～令和8年10月10日
許可業種：土木、とび・土工

●静岡県産業廃棄物収集運搬許可
許可番号：第02201117551号
許可期限：令和4年8月15日～令和9年8月14日
許可品目：廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類(石綿含有廃棄物を除く)、金属くず、
ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物を除く)、
がれき類(石綿含有廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず
以上7品目
許可車両：3t移動式ｸﾚｰﾝ、3tﾀﾞﾝﾌﾟ2台、塵芥車　計4台

●エコアクション21認証・登録
認証登録番号：0010037
認証登録日　：2014年5月20日
更新・登録日：2022年5月20日
有 効 期 限　：2024年5月19日

■ 事業規模

創業　　昭和45年2月1日
設立　　平成2年9月5日　法人成
床面積　　事務所 74㎡、資材置場 656㎡
資本金　　20,000千円
事業年度　9月1日～8月31日
保有車両　3t移動式ｸﾚｰﾝ、3tﾀﾞﾝﾌﾟ2台、塵芥車、ﾄﾗｯｸ、ﾊﾞﾝ2台、軽自動車4台 計11台

	第32期 R3.9～R4.8	第31期 R2.9～R3.8	第30期 R1.9～R2.8
売上高	180,110千円	200,026千円	138,561千円
従業員数	19　人	17　人	15　人
産業廃棄物収集運搬量	40.32 t	62.46 t	74.46 t

実 施 体 制 図

代表者
環境管理責任者
（代表取締役）
藤浪　義之

◇環境経営全般に対しての責任と権限
◇経営における課題とチャンスの整理
◇環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の作成と社員への周知
◇環境経営資源（人材･設備･資金）の準備
◇実施体制の構築
◇環境管理責任者を兼務
◇全体の評価と見直し

活動事務局
（総務部長）
吉永　恵美子

◇環境経営目標の実績確認
◇環境への負荷の自己チェック
◇環境への取組の自己チェック
◇法規制最新版管理
◇文書・記録の管理
◇代表者へのシステム運用実績報告
◇実績の評価と問題点の把握

事務部門
（総務担当）
美濃部　早紀

◇環境経営計画の実施
◇各部門のデータの取りまとめ
◇実績データの定例報告

工事部門
（工事部長）
川村　貴弘

◇環境活動計画の実施
◇各活動、担当者の総括的指導
◇実績の評価と問題点の把握、是正の実施
◇従業員教育

電　気
（工事部）
遠藤　桃子

燃　料
（工事部）
中村　侑輔

水
（工事部）
和田　香里

廃棄物
（工事部）
前田　直之

化学物質
（工事部）
水流　知昭

◇環境経営計画の実施
◇実績の評価と問題点の把握、是正の実施
◇従業員教育

全組織・全活動を対象とする

環境経営目標

		基準値	短期目標		中間目標					
			第32期 R3.9～R4.8		第33期 R4.9～R5.8		第34期 R5.9～R6.8		第31期 R2.9～R3.8	
二酸化炭素排出量（kg-CO_2） ※排出係数 基準値(26期)は0.518kg-CO_2/kWh(H23中部電力 実) 30期から0.452kg-CO_2/kWh(H30中部電力ﾐﾗｲｽﾞ 調)		42,754.20	40,188.95		40,188.95		39,761.41		39,761.41	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
電力	事務所使用量（kWh）	9,033	8,491		8,491		8,401		8,401	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
	資材置場使用量（kWh）	1,477	1,388		1,388		1,374		1,374	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
	原単位（kWh/100万円）	90.60	85.16		85.16		84.26		84.26	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
燃料	ガソリン使用量（L）	5,617.58	5,280.53		5,280.53		5,224.35		5,224.35	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
	軽油使用量（L）	9,213.06	8,660.28		8,660.28		8,568.15		8,568.15	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
	原単位（L/100万円）	127.85	120.18		120.18		118.90		118.90	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
灯油使用量（L）		36.00	36.00		36.00		36.00		36.00	
		第29期実績	増減	±0%	増減	±0%	増減	±0%	増減	±0%
水使用量（㎥）		43.4	41.7		41.2		41.2		41.2	
		第29期実績	増減	-4%	増減	-5%	増減	-5%	増減	-5%
廃棄物	一般廃棄物リサイクル率（%）	—	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	産業廃棄物リサイクル率（%）	—	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
化学物質（農薬）使用量（kg）		2.461	2.313		2.313		2.289		2.289	
		第26期実績	増減	-6%	増減	-6%	増減	-7%	増減	-7%
ｻｰﾋﾞｽ	緑化の推進（件）	3	3		3		3		3	
	既存の資源の活用（件）	3	3		3		3		3	
	地元生産の資源の活用（件）	3	3		3		3		3	
	効率的な工程の考案（件）	3	3		3		3		3	
地域貢献活動（件）		6	6		6		6		6	

電力及び燃料は、使用量若しくは原単位のどちらかが目標達成できればよいとする
化学物質使用量は、民間管理（個人邸の庭園管理、民間企業・民間施設の緑地管理等）に使用したものだけを対象とする
廃棄物収集運搬業者として排出業者への分別指導活動は、目標設定せず活動のみとする

環境経営計画

環境経営計画		実施時期		担当者
電力				
エアコンの適切な使用、清掃		夏季･冬季	夏季、冬季に注意喚起	吉永
こまめな消灯、LED電灯への切り替え		常時		
クールビズ、ウォームビズの心掛け		夏季･冬季	夏季、冬季に注意喚起	
毎週水曜日はノー残業、その他の曜日も原則21時まで		常時	4月はノー残業月間	小長井
燃料（ガソリン・軽油）				
エコドライブの心掛け		常時	繁忙期は注意喚起	水流/中村
効率的な交通移動の確認（荷物・ルート）		常時		
車両、重機の適正な点検、整備		常時		
ICT活用の推進による交通移動の削減		常時		遠藤
灯油				
灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用		冬季		水流
水				
節水の心掛け		常時	冬季は特に注意喚起	和田
雨水の活用		常時		
定期的なメーターの動作確認		毎月	メーター測定時に実施	
一般廃棄物				
3R（リデュース、リユース、リサイクル）の心掛け		常時		吉永
社内文書のデータ化		常時		
産業廃棄物				
分別の徹底		常時		前田
マニフェストの適正な運用管理		常時	6月実績報告	前田/吉永
刈草、木くずの有効活用方法の検討		常時		藤浪
排出業者への分別指導（収集運搬業者として）		常時		前田
化学物質（農薬）				
適正な使用量の確認、過剰散布の禁止		常時		水流
適正な使用、保管の徹底		常時		
サービス（環境に配慮した工法の提案）				
植栽、緑化の施工割合の増加の提案		随時		藤浪/川村
既存資源の再利用、有効利用の提案		随時		
地元で生産された資源の優先利用の提案		随時		
効率的に業務ができる工程を提案		随時		
ボランティア				
ボランティアへの参加		随時		川村
その他				
労働能率向上	ICT、IoTの活用の検討	9月～		藤浪/吉永
BCP	防災マニュアルの策定	11月～		吉永
	防災用品の整備	11月～		吉永
人材確保、人材育成	人材確保及び計画的な育成	9月～		藤浪/吉永
	定期的な教育訓練の実施	毎月		吉永
情報発信	HP更新	毎月		吉永

取 組 内 容 ①

	電　気	燃　料	廃棄物	農　薬	その他環境活動
	・エアコンフィルター ・簡易点検	・車両購入等 ・車両･重機整備	・収集運搬許可 ・マニフェスト報告	・緊急事態訓練	・ボランティア･地域貢献活動→☺ ・教育訓練(回覧･訓練･勉強会)→📖 ・その他の活動
R3 9 月	フィルター清掃 (9/6)	パッカー車修理(9/6)			☺遊水地4工区サクラタデ保全活動(9/8) 📖定例会（草刈作業の安全管理）(9/9) ・職長･安全衛生責任者(遠)(9/9～10) ☺遊水地1.4工区魚類調査(9/26)
10 月		ボンゴ車検(10/18) 軽トラ5598点検(10/19)			📖定例会（水道使用量）(10/11) ・建設業許可更新（10/11） ☺サクラタデ観察会設営準備(10/12) ・玉掛け技能講習(和)(10/12～14) ☺サクラタデ観察会運営補助､片付(10/16.26) ☺秋の園芸市（市造協）(10/24)
11 月	エアコン簡易点検 (11/9)	軽トラ5598整備(11/1) キャラバン車検(11/24) 3tD4308修理(11/27)			📖定例会（高木剪定災害）(11/1) ・街路樹剪定士更新(長･前)(11/9) ・造園特定建設業許可取得（11/26） 📖定例会（安全帯使用）(11/29)
12 月	フィルター清掃 (12/25)	3tD4308車検(12/7) ユニック整備(12/13)			・ロープ高所作業(社･川･水)(12/1) ☺あさはた緑地池の水抜いてみた(12/14) 📖EA21環境経営レポート回覧(12/15) ・office365導入
R4 1 月		白バン整備(1/5) パッカー車修理(1/13)		農薬管理指導士 研修(和)(1/27)	📖定例会（経営計画、感染対策）(1/5) ・農薬管理指導士研修(和)(1/27)
2 月	エアコン簡易点検 (2/1)	パッカー車車検(2/14) ライトエース点検(2/14) ユニック車検(2/16) 3tD3453点検(2/25)			・ツリークライミングBAT-2(曲･前)(2/22)
3 月	フィルター清掃 (3/30)	ボンゴ整備(3/2)			📖定例会（アルコール検知器）(3/1)
4 月	ノー残業月間 (4/1~30)			農薬保管庫整理 (4/4) 緊急事態訓練 (4/4)	📖大山､杉山､戸田入社、雇入時教育(4/1) 📖定例会（現場の安全管理）(4/4) 📖緊急事態訓練（火災､農薬流出）(4/4) ◎EA21更新審査(4/14)
5 月	エアコン簡易点検 (5/19)	ボンゴ整備(5/11) 軽トラ2941整備(5/11) 白バン整備(5/17)	委託先現地確認 (5/19)		📖個人面談、目標管理(5/中～) ☺麻機遊水地クリーン作戦(5/21)
6 月		軽トラ5598整備(6/14)	マニフェスト状況･ 収集運搬報告 （静岡県)(6/6)		📖定例会（草刈作業の安全管理）(6/6) ・ツリークライミングBAT-1.2(社･川)(6/20～22)
7 月		軽トラ5598整備(7/22)			📖定例会（熱中症対策）(7/4) ・刈払機取扱作業者(大･杉･戸)(7/4)
8 月	フィルター清掃 (8/10) エアコン簡易点検 (8/10)	ライトエース車検(8/1) 軽箱購入(8/6) 白バン車検(8/29)			📖定例会（工具使用時の注意点）(8/1) ・玉掛け技能講習(香)(8/29～31) ・型枠支保工の組立て(遠)(8/22～23)

取 組 内 容 ②

当社は、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の取組みを進めています。

環境負荷の低減のための取組みの他、地域の自然環境の保全、従業員の能力向上、働きやすい職場づくり、女性活躍推進などにも力を入れています。私たちの仕事を通じて、ＳＤＧｓの達成に貢献します。

ボランティア活動【麻機遊水地】

麻機遊水地は、大雨による巴川下流の水害を防ぐための貯留施設です。私たちの暮らしを守る重要な役割を担う一方で、平時には豊かな自然環境を楽しむことができます。当社は麻機遊水地からほど近く、以前から地域の皆さんと一緒に自然環境保全の活動に積極的に取り組んできました。これからも、地域社会の活性化や自然環境の保全に貢献していきます。

今年もサクラタデ観察会の会場設営、運営のお手伝いをしました。周辺に生息しているガマを採取し、垣根にして水屋を作りました。観察会当日には周辺に生息する魚類等を紹介、解説しました。

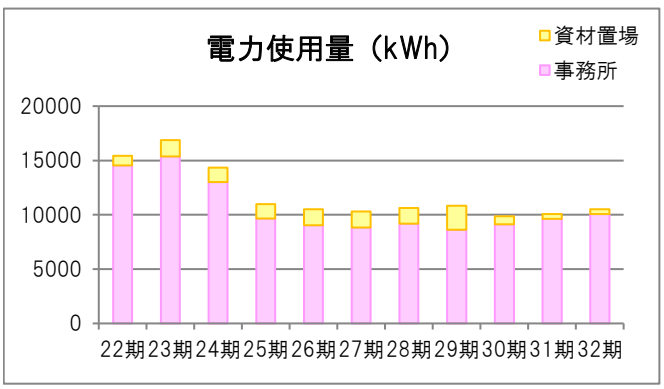
この日は魚類調査のお手伝いをしました。どのような魚類が生息しているかを調べることで、生態系や周辺環境の変化を確認します。

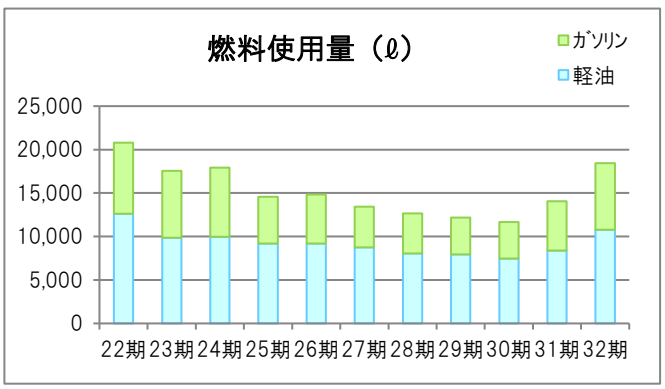
定期教育訓練＆緊急事態対応訓練

月に一度の定例会議で、技術教育、安全教育、EA21の取組みに関する教育訓練を行っています。また、年に一度は社員全員で、火災発生時及び農薬等危険物流出時の対応確認、初期消火訓練、危険物の点検等を行っています。定期的に訓練を行い、事故の起こらない環境づくりに取り組んでいます。

環境経営目標の実績及び評価

			第32期（R3.9月～R4.8月）				
			目　標	実　績			評　価
二酸化炭素排出量（kg-CO_2） ※排出係数 基準値(26期)は0.518kg-CO_2/kWh(H23中部電力 実) 30期から0.452kg-CO_2/kWh(H30中部電力ﾐﾗｲｽﾞ 調)			40,188.95	50,376.96		×	燃料使用量の増加に伴い、大幅に増加してしまった。
			増減 -6%	増減 17.8%	×		
電力	事務所使用量（kWh）		8,491	10,068		○	事務所使用量は目標未達成だが、資材置場使用量と原単位は目標達成
			増減 -6%	増減 11.4%	×		
電力	資材置場使用量（kWh）		1,388	448			コロナ対策によるこまめな換気等により、事務所使用量は削減できなかった。しかし、原単位では目標より大幅に削減することができているので、効率的な使用ができていたと言える。
			増減 -6%	増減 -69.6%	○		
電力	原単位（kWh/100万円）		85.16	58.42			
			増減 -6%	増減 -35.5%	○		
燃料	ガソリン使用量（L）		5,280.53	7,654.43		○	ガソリン使用量、軽油使用量は目標未達成だが、原単位は目標達成
			増減 -6%	増減 36.2%	×		
燃料	軽油使用量（L）		8,660.28	10,783.19			遠方の現場が多く、移動のためガソリン、軽油使用量が大幅に増えてしまった。使用量としては目標未達成だが、原単位では目標より大幅に削減することができているので、効率的な使用ができていたと言える。
			増減 -6%	増減 17.0%	×		
燃料	原単位（L/100万円）		120.18	102.43			
			増減 -6%	増減 -19.8%	○		
灯油使用量（L）			36.00	18.00		○	資材置場での作業終了後すぐに事務所に戻るようにしたため、灯油ストーブを使用することが全くなかった。
			増減 ±0%	増減 -50.0%	○		
水使用量（㎥）			41.7	37.0		○	目標を達成することができた。
			増減 -4%	増減 -14.7%	○		
廃棄物	一般廃棄物	排出量（t）※草枝葉除	100.0%	0.437		○	適切に分別、処分することができた。
廃棄物	一般廃棄物	リサイクル率（%）		増減 100.0%	○		
廃棄物	産業廃棄物	排出量（t）	100.0%	222.347		○	リサイクルできなかった混廃は工事･業務中の地域貢献活動（ゴミ拾い）から発生しているため評価は○とする。
廃棄物	産業廃棄物	リサイクル率（%）		増減 99.7%	△		
化学物質（農薬）使用量（kg）			2.313	0.743		○	今年も害虫の発生が少なかったため、使用量を抑えることができた。
			増減 -6%	増減 -69.8%	○		
ｻｰﾋﾞｽ	緑化の推進（件）		3	2		○	緑化の推進は少なかったが、他3つは達成できた。
			増減 —	増減 -1	×		
ｻｰﾋﾞｽ	既存の資源の活用（件）		3	4			日頃から何気なく取組んでいることが多いので集計がうまくできなかった。もっと意識的に取組み、数値として可視化していくようにしたい。
			増減 —	増減 1	○		
ｻｰﾋﾞｽ	地元生産の資源の活用（件）		3	12			
			増減 —	増減 9	○		
ｻｰﾋﾞｽ	効率的な工程の考案（件）		3	3			
			増減 —	増減 ±0	○		
地域貢献活動（件）			6	7		○	天候や新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が多かったが、目標を達成することができた。
			増減 —	増減 1	○		





環境経営計画の取組結果及び評価

環境経営計画		結果	評　　価
電力			
エアコンの適切な使用、清掃		○	コロナ対策でこまめな換気を心掛けていたのでエアコンの使用効率は悪かったが、こまめな消灯、クールビズ、ウォームビズの声掛け等は適切に取組むことができた。
こまめな消灯、LED電灯への切り替え		○	
クールビズ、ウォームビズの心掛け		○	
毎週水曜日はノー残業、その他の曜日も原則21時まで		○	
燃料（ガソリン・軽油）			
エコドライブの心掛け		○	現場の位置や内容に合わせて、燃費のいい車から優先的に使用するように心掛けている。車両や機械の不具合等はLINEや定例会で共有し、常に適正な整備を行うよう心掛けている。
効率的な交通移動の確認（荷物・ルート）		○	
車両、重機の適正な点検、整備		○	
ICT活用の推進による交通移動の削減		○	
灯油			
灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用		○	適切に取組むことができた。
水			
節水の心掛け		○	夏季、冬季は水使用量が増えやすいが、定例会であらかじめ声掛けすることで皆意識して節水に取組むことができた。
雨水の活用		○	
定期的なメーターの動作確認		○	
一般廃棄物			
3R（リデュース、リユース、リサイクル）の心掛け		○	適切に取組むことができた。
社内文書のデータ化		○	
産業廃棄物			
分別の徹底		○	適切に取組むことができた。あさはた緑地での刈草の堆肥化も継続して行っている。
マニフェストの適正な運用管理		○	
刈草、木くずの有効活用方法の検討		○	
排出業者への分別指導（収集運搬業者として）		○	
化学物質（農薬）			
適正な使用量の確認、過剰散布の禁止		○	適切に取組むことができた。
適正な使用、保管の徹底		○	
サービス（環境に配慮した工法の提案）			
植栽、緑化の施工割合の増加の提案		○	適切に取組むことができた。今後はこまめに集計を行い社内で積極的に発信していくことで、社内での意識向上につなげていきたい。
既存資源の再利用、有効利用の提案		○	
地元で生産された資源の優先利用の提案		○	
効率的に業務ができる工程を提案		○	
ボランティア			
ボランティアへの参加		○	適切に取組むことができた。
その他			
労働能率向上	ICT、IoTの活用の検討	○	クラウドを導入し、運用を始めた。
BCP	防災ﾏﾆｭｱﾙの策定	△	大筋はできているがﾏﾆｭｱﾙは未作成。
	防災用品の整備	○	防災食等一式購入した。
人材確保、人材育成	人材確保及び計画的な育成	○	新卒3名が入社し、教育訓練を実施した。
	定期的な教育訓練の実施	○	定例会で適切に取組むことができた。
情報発信	HP更新	○	適宜新しい情報に更新した。

次年度の環境経営目標及び環境経営計画

		第33期（R4.9～R5.8）			
		環境経営目標	環境経営計画	実施時期	担当
二酸化炭素	排出量（kg-CO_2）	40,188.95			
		第26期より-6%			
	原単位（kg-CO_2/100万円）	346.45			
		第26期より-6%			
電力	事務所使用量（kWh）	8,491	エアコンの適切な使用、清掃	夏季･冬季	吉永
		第26期より-6%	こまめな消灯、LED電灯への切り替え	常時	吉/戸
	資材置場使用量（kWh）	1,388	クールビズ、ウォームビズの心掛け	夏季･冬季	吉永
		第26期より-6%	毎週水曜日はノー残業デー	常時	小長井
	原単位（kWh/100万円）	85.16			
		第26期より-6%			
燃料	ガソリン使用量（L）	5,280.53	エコドライブの心掛け	常時	大山
		第26期より-6%	効率的な移動方法の確認（荷物･ルート）	常時	大山
	軽油使用量（L）	8,660.28	車両、重機の適正な点検、整備	随時	大山
		第26期より-6%	ICT活用の推進による打合せ移動の削減	常時	遠藤
	原単位（L/100万円）	120.18			
		第26期より-6%			
灯油使用量（L）		36.00	灯油ストーブの適切な使用	冬季	大山
		第29期より±0			
水使用量（㎥）		41.2	節水の心掛け	常時	福永
			雨水の活用	常時	福永
		第29期より-5%	定期的なメーター動作の確認	毎月	福永
廃棄物	一般廃棄物リサイクル率（%）	100.0%	3Rの推進	常時	吉永
			社内文書のデータ化	9月～	吉永
	産業廃棄物リサイクル率（%）	100.0%	分別の徹底	常時	杉山
			マニフェストの適正な運用管理	常時	杉/吉
			刈草、木くずの有効活用方法の検討	9月～	藤浪
			排出業者への分別指導（収集運搬業者として）	随時	杉山
化学物質（農薬）使用量（kg）		2.313	過剰散布の禁止	常時	水流
		第26期より-6%	適正な保管の徹底	常時	水流
サ･ビス	緑化の推進（件）	3	植栽、緑化の施工割合の増加の提案	随時	藤/川
	既存の資源の活用（件）	3	既存資源の再利用、有効利用の提案	随時	藤/川
	地元生産の資源の活用（件）	3	地元で生産された資源の優先利用の提案	随時	藤/川
	効率的な工程の考案（件）	3	効率的に業務ができる工程を提案	随時	藤/川
地域貢献活動（件）		6	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱへの参加	随時	川村
その他	労働能率向上		現場移動の無駄削減のため軽自動車購入	9月～	藤浪
			古くなり故障が増えたバックホーの更新	9月～	藤浪
			事務作業効率化のためPC追加購入	9月～	吉永
	BCP		防災マニュアルの策定	9月～	吉永
			防災用品の点検・更新	11月頃	吉永
	人材育成		人材確保及び育成	9月～	藤/吉
			定期的な教育訓練	毎月	吉永
	情報発信		HP更新	毎月	吉永

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

代表者	工事部	事務局

確認日　令和 4 年 8 月 31 日

法規制等の名称	適用項目	手続き・遵守事項	確　認	
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業許可	・5年毎の更新	○	R4.8月更新
	収集運搬及び処分業者との委託契約	・書面での適正な契約の締結 ・業者の許可内容の確認	○	適正
	マニフェストの交付・運用・保存	・交付状況の記録 ・管理票交付状況報告書の提出（静岡県） ・排出業者へ90日以内の返送 ・5年間の保存	○	適正
	投棄・焼却禁止	・不法投棄・焼却を行わない	○	適正
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の運搬実績の報告	・収集運搬実績報告書の提出	○	R4.6/6提出
	委託先の処理状況の実地確認	・実地確認	○	R4.5/19実施
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体・再資源化等の実施	・書面での計画説明、報告 ・契約書へ費用等を明記	○	該当2件
騒音規制法	特定建設作業（杭打機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等）の実施の届出	・事前に市町村へ届け出	○	該当0件
振動規制法	特定建設作業（杭打機、鋼球、舗装版破砕機、ﾌﾞﾚｰｶｰ等）の実施の届出	・事前に市町村へ届け出	○	該当0件
農薬取締法	無登録農薬の使用の禁止	・登録内容の確認	○	適正
	農薬使用基準の遵守	・農薬の有効期限の厳守 ・使用状況、保管状況の記録	○	適正
家電リサイクル法	家電4品目（ｴｱｺﾝ、ﾃﾚﾋﾞ、冷蔵庫、洗濯機）消費者としての役割	・引取業者への引渡し ・廃棄時にリサイクル料金等を負担	○	該当0件
自動車リサイクル法	自動車所有者としての役割	・引取業者への引渡し ・購入時にリサイクル料金を負担	○	該当1件
フロン排出抑制法	空調室外機のフロン漏洩点検	・簡易点検（四半期に一度）	○	室外機2台

上記法規制等について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
過去3年にわたり、関係機関からの指導、利害関係者からの訴訟や苦情はありませんでした。

代表者による評価

前回の見直しの指示に対する取組結果	
前回の見直しの指示	指示はなかった。
指示に対する取組みと運用結果	―
個別評価	
環境経営目標の達成状況	燃料使用量が増加したことで、二酸化炭素排出量の目標が達成できなかった。
環境経営計画及び運用結果	適切に取り組んだ。
環境関連法規等の遵守状況	違反、訴訟等はなかった。
外部からの環境に関する苦情や要望	苦情、要望等はなかった。
実施体制	適切な体制がとれている。
その他	―
全体評価	
当期は市外等遠方の現場が多かったため移動による燃料使用量が突出してしまったが、仕事の内容としては今後の会社発展に十分貢献するものであり、社員が多くを学べる場にもなった。今後も環境負荷と会社経営のバランスを上手くとりながら、環境経営の取組みを発展させていく。	

見直しの指示	
環境経営方針	―
環境経営目標	二酸化炭素排出量も、電力及び燃料と同じく原単位と併せて評価すること。
環境経営計画	―
実施体制	若手社員を担当につけ、積極的に環境経営計画に関わらせること。
その他	―

令和 4 年 12 月 15 日

株式会社藤浪造園
代表取締役　藤浪義之